

令和 3 年度公営企業会計決算における 決 算 審 査 意 見 書

- ・西和賀さわうち病院事業会計
- ・西和賀町水道事業会計

西和賀町監査委員

令和 4 年 8 月

目 次

令和4年度決算審査意見書 目次

I 令和3年度決算における決算審査結果

1. 審査の対象	1
2. 審査の方法	1
3. 審査の日時と場所及び審査に立ち会った職員	1
4. 審査した監査委員	1
5. 審査の結果	1
6. 西和賀さわうち病院事業会計決算	2
7. 水道事業会計決算	4

II 審査意見

- ① 表中の数値には、それぞれ単位を記入しています。
- ② 文中や表の数値で千円、万円と表示してある場合は、原則としてそれぞれの表示未満の数値を切り捨てています。
- ③ 率と率の比較は、ポイントで表示しました。
- ④ 表中の符号の用法は次のとおりです。
 - 「0.0または0」…該当数値はあるが表示単位未満のものです
 - 「-」…数値のないものです
 - 「△」…マイナスの数値です
- ⑤ 構成比などは、合計が100%になるように一部で調整しています。
- ⑥ 掲載してある表などは、出所を明記しているもの以外は、各課からの資料に基づくものです。

I 令和3年度公営企業会計決算における決算審査概要

1. 審査対象

- 各公営企業会計歳入歳出決算
町立西和賀さわうち病院事業会計決算
西和賀町水道事業会計決算
- 付属書類
各公営企業会計の決算附属資料

2. 審査の方法

審査に付された決算報告書、財務諸表及び決算付属書類の記載事項が法令に準拠して作成されているか、その計数の正確性、経営内容の妥当を審査するとともに、予算執行の適否及び決算経理について関係職員から事情を聴取したほか、例月の現金出納検査と定期監査なども参考にしながら審査を実施した。

3. 審査の日時と場所及び審査に立ち会った職員

令和4年度決算審査(令和3年度決算対象)

月日	時間	対象課等	立ち会った職員、備考	場所
7月	25日 (月)	13:10 ~ 14:00	西和賀 さわうち病院 事務長 東 清彦、主任 赤石広光	西和賀 さわうち病院 会議室
		監査委員事務局立会者	事務局長 加藤真喜子、書記 内記孝洋	
	14:50 ~ 16:40	上下水道課	課長 小林英介、課長代理 北島克人	湯田庁舎3階 議員控室
		監査委員事務局立会者	事務局長 加藤真喜子、書記 内記孝洋	
8月	19日 (金)	9:00 ~ 10:00	三役へ決算審査意見書説明(三役・監査委員事務局)	湯田庁舎2階 応接室
	22日 (月)	9:30 ~ 9:50	決算審査意見書提出 講評(庁議にて各所属長へ)	湯田庁舎3階 大会議室

4. 審査した監査委員

高橋政芳代表監査委員、児玉正彦監査委員

5. 審査の結果

審査に付された各事業の決算書類及び決算付属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成され、財政状況並びに当年度の経営成績を表示しており、予算執行は所期の目的に従い適正に執行されたものと認めた。

6. 町立西和賀さわうち病院事業会計

1 事業の概要

当年度の入院患者数は 9,491 人で前年度に比べ 105 人の増加、医科外来は 21,934 人で前年度に比べ 589 人の増加、歯科外来は 6,674 人で前年度に比べ 323 人の増加となり、医科と歯科を併せた外来患者数全体も前年度を上回っている。

○ 業務量

①施設利用者数

区 分	入 院	医科外来	歯科外来	備 考
令和 3 年度	9,491人	21,934人	6,674人	
令和 2 年度	9,386人	21,345人	6,351人	
対前年比	105人	589人	323人	
	1.1%	2.8%	5.1%	

②病床利用状況

区 分	年延病床数	年延入院患者数	利用率	備 考
令和 3 年度	14,600床	9,491人	65.0%	
令和 2 年度	14,600床	9,386人	64.3%	

③一日平均取扱患者数

区 分	年延診療日数	年延患者数	一日平均患者数	備 考
入 院	365日	9,491人	26.0人	
医科外来	276日	21,934人	79.5人	
歯科外来	239日	6,674人	27.9人	

2 予算の執行状況

収益収支では、収入総額が 9 億 3,884 万円に対して支出総額は 9 億 7,009 万円で、収入総額から支出総額を差し引いた当年度の純損失は 3,125 万円となっている。

令和3年度の累積欠損は 7 億 9,507 万円となっている。

①収益収支

(税抜き)

年度	収入			支出			収入支出
	予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B)/(A)	予算額 (C)	決算額 (D)	執行率 (D)/(C)	差引額 (B)-(D)
令和3	938,194,000円	938,847,695円	100.1%	1,010,318,000円	970,098,191円	96.0%	△31,250,496円
令和2	940,030,000円	928,515,767円	98.8%	1,023,553,000円	988,889,965円	96.6%	△60,374,198円
令和元	907,495,000円	908,258,833円	100.1%	983,459,000円	959,598,290円	97.6%	△51,339,457円

②資本収支

(税抜き)

年度	収入			支出			収入支出
	予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B)/(A)	予算額 (C)	決算額 (D)	執行率 (D)/(C)	差引額 (B)-(D)
令和3	73,257,000円	73,242,376円	100.0%	73,257,000円	73,242,376円	100.0%	0円
令和2	94,090,000円	76,296,375円	81.1%	94,090,000円	76,296,375円	81.1%	0円
令和元	88,148,000円	88,146,623円	100.0%	88,148,000円	88,146,623円	100.0%	0円

(1)収益的収入及び支出

収益的収入の決算額は9億3,884万円で前年度と比べて1,033万円の増加となる。内訳は、医業収益は6億4,087万円で前年度と比べて3,735万円増加しており、医業外収益は2億9,797万円で前年度と比べて2,236万円減少している。

収益的支出の決算額は9億7,009万円で前年度と比べて1,879万円の減少となる。内訳は、医業費用は9億4,826万円で前年度と比べて1,448万円減少しており、医業外費用は2,183万円で前年度と比べて34万円増加している。

○収 入

(税抜き)

区 分	令和3年度		令和2年度		増 減 (B)-(D)
	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額 (C)	決算額 (D)	
医業収益	627,835,000円	640,874,194円	605,741,000円	603,522,815円	37,351,379円
医業外収益	310,358,000円	297,973,501円	329,638,000円	320,342,952円	△22,369,451円
特別収益	1,000円	0円	4,651,000円	4,650,000円	△4,650,000円
病院事業収益	938,194,000円	938,847,695円	940,030,000円	928,515,767円	10,331,928円

○支 出

(税抜き)

区 分	令和3年度				令和2年度		増 減 (B)-(F)
	予算額 (A)	決算額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (D)	予算額 (E)	決算額 (F)	
医業費用	1,006,586,000円	948,263,744円	-	58,322,256円	1,016,387,000円	962,749,321円	△14,485,577円
医業外費用	3,730,000円	21,834,447円	-	△18,104,447円	2,514,000円	21,490,644円	343,803円
特別損失	1,000円	0円	-	1,000円	4,651,000円	-	-
予備費	1,000円	0円	-	1,000円	1,000円	-	-
病院事業費用	1,010,318,000円	970,098,191円	-	40,219,809円	1,023,553,000円	988,889,965円	△18,791,774円

(2)資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の決算額は7,324万円で前年度と比べて305万円減少している。

○収 入

(税抜き)

区 分	令和3年度		令和2年度		増 減 (B)-(D)
	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額 (C)	決算額 (D)	
企業債	4,000,000円	4,000,000円	12,500,000円	12,500,000円	△8,500,000円
出資金	5,193,000円	5,191,771円	2,377,000円	2,376,954円	2,814,817円
負担金	46,272,000円	46,271,690円	42,145,000円	42,144,121円	4,127,569円
補助金	17,792,000円	17,778,915円	37,068,000円	19,275,300円	△1,496,385円
資本的収入	73,257,000円	73,242,376円	94,090,000円	76,296,375円	△3,053,999円

○支 出

(税抜き)

区 分	令和3年度				令和2年度		増 減 (B)-(E)
	予算額 (A)	決算額 (B)	繰越額 (D)	不用額 (C)	予算額 (D)	決算額 (E)	
建設改良費	26,985,000円	26,970,686円	-	14,314円	51,945,000円	34,152,254円	△7,181,568円
企業債償還金	46,272,000円	46,271,690円	-	310円	42,145,000円	42,144,121円	4,127,569円
資本的支出	73,257,000円	73,242,376円	-	14,624円	94,090,000円	76,296,375円	△3,053,999円

7. 水道事業会計

1 事業の概要

業務量は、年間総配水量 969,381 m³、一日平均配水量 2,656 m³、年間総有収水量 592,704 m³となった。また、給水人口は 5,088 人、給水戸数は 2,215 戸となった。

○ 業務量

項 目	令和 3 年度 (A)	令和 2 年度 (B)	比較 (A)-(B)
給 水 人 口	5,088人	5,254人	△ 166人
上記のうち沢内地区	2,616人	2,697人	△ 81人
上記のうち湯田地区	2,472人	2,557人	△ 85人
給 水 戸 数	2,215戸	2,232戸	△ 17戸
導 水 管 延 長	12,490m	12,490m	0m
送 水 管 延 長	18,280m	18,280m	0m
配 水 管 延 長	147,090m	147,090m	0m
配水能力 (m ³ /日)	3,652m ³ /日	3,652m ³ /日	0m ³ /日
年 間 総 配 水 量	969,381m ³	890,150m ³	79,231m ³
年 間 総 有 収 量	592,704m ³	597,360m ³	△ 4,656m ³
一 日 平 均 配 水 量	2,656m ³	2,439m ³	217m ³

2 予算の執行状況

収益収支では、収入総額が 3 億 5,274 万円に対して支出総額は 4 億 412 万円で、収入総額から支出総額を差し引いた当年度の純損失は 5,138 万円となっている。

令和3年度の累積欠損は 6 億 6,669 万円となっている。

(税抜き)

収益収支			資本収支		
収入総額 (A)	支出総額 (B)	収入支出差引額 (A)-(B)	収入総額 (C)	支出総額 (D)	収入支出差引額 (C)-(D)
352,740,118円	404,128,804円	△51,388,686円	281,683,246円	431,440,246円	△149,757,000円

(1)収益的収入及び支出

収益的収入の決算額は3億5,274万円で前年度と比べて1億6,717万円の増加となる。
内訳は、営業収益1億1,618万円、営業外収益2億3,655万円となっている。

収益的支出の決算額は4億412万円で前年度と比べて200万円の減少となる。内訳は、
営業費用3億7,860万円、営業外費用2,552万円となっている。

○ 収 入 (税抜き)

区 分	令和3年度		令和2年度		増 減 (B)-(D)
	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額 (C)	決算額 (D)	
営業収益	126,590,000円	116,186,930円	122,230,000円	112,581,850円	3,605,080円
営業外収益	232,431,000円	236,553,188円	74,703,000円	72,985,742円	163,567,446円
水道事業収益	359,021,000円	352,740,118円	196,933,000円	185,567,592円	167,172,526円

○ 支 出 (税抜き)

区 分	令和3年度				令和2年度		増 減 (B)-(F)
	予算額 (A)	決算額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (D)	予算額 (E)	決算額 (F)	
営業費用	378,312,000円	378,600,774円	-	△288,774円	389,488,000円	376,449,029円	2,151,745円
営業外費用	31,155,000円	25,528,030円	-	5,626,970円	27,613,000円	27,309,137円	△1,781,107円
特別損失	0円	0円	-	0円	0円	2,374,245円	△2,374,245円
予備費	500,000円	0円	-	500,000円	500,000円	0円	0円
水道事業費用	409,967,000円	404,128,804円	-	5,838,196円	417,601,000円	406,132,411円	△2,003,697円

(2)資本的収入及び支出の状況

資本的収入の決算額は2億8,168万円で、前年度と比べて3,235万円の減少となる。内
訳は、企業債8,500万円、出資金2億4,518万円となっている。

資本的支出の決算額は4億3,393万円で、1億1,051万円の増加となる。内訳は、建設
改良費2,744万円、企業債償還金4億648万円となっている。

○ 収 入 (税抜き)

区 分	令和3年度		令和2年度		増 減 (B)-(D)
	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額 (C)	決算額 (D)	
企業債	8,500,000円	8,500,000円	50,100,000円	50,100,000円	△41,600,000円
出資金	245,184,000円	245,183,246円	233,213,000円	233,212,860円	11,970,386円
負担金	28,000,000円	28,000,000円	31,358,000円	30,724,492円	△2,724,492円
補助金	0円	0円	0円	0円	0円
資本的収入	281,684,000円	281,683,246円	314,671,000円	314,037,352円	△32,354,106円

○ 支 出 (税抜き)

区 分	令和3年度				令和2年度		増 減 (B)-(E)
	予算額 (A)	決算額 (B)	繰越額 (D)	不用額 (C)	予算額 (D)	決算額 (E)	
建設改良費	55,448,000円	27,447,200円	28,000,000円	800円	112,959,000円	94,047,000円	△66,599,800円
企業債償還金	406,489,000円	406,488,246円	0円	754円	229,374,000円	229,373,860円	177,114,386円
資本的支出	461,937,000円	433,935,446円	28,000,000円	1,554円	342,333,000円	323,420,860円	110,514,586円

3 経理の状況

① 事業収入

(単位:円、税抜き)

区 分	令和3年度(A)		令和2年度(B)		比 較	
	決 算 額	構成比 %	決 算 額	構成比 %	増 減 (A-B)	比 率 (A/B×100) %
1 営 業 収 益	116,186,930	32.9	112,581,850	60.7	3,605,080	103.2
(1) 給 水 収 益	112,171,730	31.8	112,468,650	60.6	△ 296,920	99.7
(2) その他の営業収益	4,015,200	1.1	113,200	0.1	3,902,000	3547.0
2 営 業 外 収 益	236,553,188	67.1	72,985,742	39.3	163,567,446	324.1
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	1,567	0.0	1,539	0.0	28	101.8
(2) 他 会 計 補 助 金	175,807,106	49.9	14,853,000	8.0	160,954,106	1183.6
(3) 長期前受金戻入	59,269,312	16.8	56,723,255	30.6	2,546,057	104.5
(4) 雑 収 益	1,475,203	0.4	1,407,948	0.7	67,255	104.8
計	352,740,118	100.0	185,567,592	100.0	167,172,526	427.3

② 事業費

(単位:円、税抜き)

区 分	令和3年度(A)		令和2年度(B)		比 較	
	決 算 額	構成比 %	決 算 額	構成比 %	増 減 (A-B)	比 率 (A/B×100) %
1 営 業 費 用	378,600,774	93.7	376,449,029	92.7	2,151,745	100.6
(1) 原水及び浄水費	51,993,713	12.9	57,028,463	14.0	△ 5,034,750	91.2
(2) 配水及び給水費	10,398,117	2.6	10,951,403	2.7	△ 553,286	94.9
(3) 総 係 費	36,574,223	9.0	37,298,288	9.2	△ 724,065	98.1
(4) 減 価 償 却 費	265,107,725	65.6	271,170,875	66.8	△ 6,063,150	97.8
(5) 資 産 減 耗 費	14,526,996	3.6	0	0.0	14,526,996	0.0
2 営 業 外 費 用	25,528,030	6.3	27,309,137	6.7	△ 1,781,107	93.5
(1) 支払利息及び企 業 債 取 扱 諸 費	25,104,212	6.2	27,194,855	6.7	△ 2,090,643	92.3
(2) 雑 支 出	423,818	0.1	114,282	0.0	309,536	370.9
3 特 別 損 失	0	0.0	2,374,245	0.6	△ 2,374,245	0.0
(1) 過 年 度 損 益 修 正 損	0	0.0	2,374,245	0.6	△ 2,374,245	0.0
計	404,128,804	100.0	406,132,411	100.0	△ 2,003,607	194.1

町立西和賀さわうち病院事業会計

令和３年度の町立西和賀さわうち病院事業会計の業務実績は、入院患者数 9,491 人、医科外来患者数 21,934 人、歯科外来患者数 6,674 人となった。新型コロナウイルス感染症の影響も懸念されたが、前年度と比べて入院 105 人、医科外来 589 人、歯科外来 323 人とそれぞれ増加した。

経営成績は、事業収益 9 億 3,884 万 7,695 円、事業費用 9 億 7,009 万 8,191 円で、事業収益から事業費用を差し引いた当期純損失は 3,125 万 496 円となった。前年度と比べて事業収益で 1,033 万 1,928 円増加、事業費用で 1,879 万 1,774 円減少した。純損失については 2,912 万 3,702 円減少している。

令和３年度も黒字にはならなかったものの、懸命の経営努力の結果、赤字額が前年度及び年度計画と比較して減少するなど、財務面の改善も見られたことから一定の評価をしたい。

医業収益が増加した主な要因としては、入院収益と新型コロナウイルス感染症予防ワクチン業務委託料等による収益の増加である。一方、医業費用の減少は、給与費と給水光熱費、燃料費で費用が増加するも、地域包括ケア病棟コンサルタント料と一部医療機器の償却終了に伴う減価償却費等の費用減少によるものである。

令和４年３月に国から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」による公立病院経営強化プランの主な内容は、①役割・機能の最適化と連携の強化、②医師・看護師等の確保と働き方改革、③経営形態の見直し、④新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組、⑤施設・設備の最適化、⑥経営の効率化等の６項目について、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、地域の実情に応じた公立病院の経営強化のために必要な取り組みを記載するように求められている。施策目標を達成するための取り組みを実施することにより、さらなる経営基盤の強化に期待したい。

今後の事業運営においても、地域に密着した良質な医療を継続的に提供していくためには、病院事業の現状と今後の情勢を的確に見据えながら、社会や環境の変化に適応した経営の健全性が不可欠と考える。引き続き収益の確保や費用の抑制、最適化等の取り組みを推進されたい。

また、感染対策の徹底に努めながら、地域の基幹的な公的医療機関として、地域医療機関との連携を強化しつつ、住民満足度の高い医療の安定的な確保と進展を図ると共に、公共の福祉の増進と医療水準の向上に一層貢献されることを望むものである。

水道事業会計

令和 3 年度の水道事業会計の業務実績は、給水人口 5,088 人、給水戸数 2,215 戸で、前年度と比べて給水人口は 164 人、給水戸数は 17 戸の減少となった。また、年間配水量は 969,381 m³、有収水量は 592,704 m³で、前年度と比べて年間配水量は 79,231 m³増加し、有収水量は 4,656 m³減少となった。

経営成績は、総収益 3 億 5,274 万 118 円（前年度比 1 億 6,717 万 2,526 円増加）、総費用 4 億 412 万 8,804 円（前年度比 200 万 3,607 円減少）で、総収益から総費用を差し引いた当期純損失は 5,138 万 8,686 円となった。

令和 3 年度の未収金は 529 万 3,025 円で、前年度に比べて 101 万 7,572 円減少している。

未収金の回収には常日頃より鋭意尽力されているが、受益者の公正負担の原則や経営の健全性のためにも、引き続き債権管理に万全を期していただきたい。

水道事業については、全国的にも保有する資産の老朽化に伴う更新需要の増大や、今後の急激な人口減少に伴う料金収入の減少により、経営環境は厳しさを増しており、不断の経営健全化の取り組みが求められている。

水道事業は、住民の日常生活に欠くことのできない重要なサービスを提供する役割を果たしているため、国では、将来に渡りサービスの提供を安定的に継続することが可能となるよう、投資資産と財源資産により収支が均衡した形で「投資・財産計画」を策定し、現状と将来予測を踏まえた事業の効率化・経営健全化のための取り組みを含めた「経営戦略」の策定を要請している。これに対して、本町では、経営基盤の強化等を図るため、国の趣旨を踏まえて 10 年間（令和 2 年度から令和 11 年度まで）の水道事業経営に関する施策目標を示した「西和賀町水道事業経営戦略」を策定している。

公営企業である水道事業は、独立採算制を基本原則として、徴収する水道料金によって事業費を賄うことになっているが、料金収入で経費を賄えず一般会計からの繰り入れに依存した運営となっている。

このような状況から、経営基盤の強化を図り、将来に渡って安定した事業経営を維持していくためには、財源の確保が喫緊の課題であり、状況に対応した料金体制の見直しなどの検討も必要と思われる。

今後も事業を安定的に継続していくためには、「西和賀町水道事業経営戦略」に基づき、現状把握を十分に行いながら中長期的な視点に立って、社会環境や経済環境を取り巻く変化に柔軟に対応するとともに、将来を見通した経営基盤の強化を図ることを望むものである。